

# 令和7年度 中央・城北職業能力開発連絡協議会 年間 開催結果について

中央・城北職業能力開発センターでは、地域の企業における人材の確保・育成等について協議するため、地域の企業、業界団体、経済団体、自治体、関係機関等から成る「中央・城北職業能力開発連絡協議会」を設置しています。

令和7年度の開催結果は次のとおりです。

## 1 開催概要

第1回：令和7年7月9日(水) 15時～17時

第2回：令和8年2月26日(木) 10時～12時

場所：東京都立中央・城北職業能力開発センター

※その他に、中小企業経営者等による勉強会を設け、中小企業における人事上の様々な課題について協議、検討しました。

第1回勉強会 令和7年10月3日(金) 18時～20時

第2回勉強会 令和8年1月23日(金) 18時～20時

第3回勉強会 令和8年2月9日(金) 18時～20時

場所：東京都立中央・城北職業能力開発センター

## 2 協議会委員名簿

別紙のとおり

## 3 議題および協議内容

### (1) 議題：

人材確保・育成・定着について

(勉強会テーマ：リスクリングについて)

### (2) 議事

・今年度の各団体の取組について（報告）

・協議テーマについて（協議）

人材に関する事項や、勉強会でのリスクリングに係わる議論などを踏まえ、委員間での意見交換を実施。

## 4 協議結果

### (1) 連絡協議会

#### ① 各団体の取組について（報告）

- ・雇用情勢
- ・各種支援策(企業向け講習制度、合同就職面接会、セミナー、専門相談窓口、専門家派遣制度など)
- ・都立高校における「本物に触れる」教育 など

#### ② 「人材確保・育成・定着」「リスクリング」について(協議)

##### 【主な意見】

##### ○ 人材育成について

- ・従業員のあらたなスキル習得(リスクリング)は、企業活動における経営力向上、人材の有効活用、業務の効率化に加え、従業員の満足度向上、離職率低下にも寄与。
- ・若手のキャリア形成や人材育成など、企業間や業界団体内での多様な観点の対話ができる場が重要
- ・AI の活用が進む中で、人が担うべき技能や判断力の価値はむしろ高まっており、従業員にどのように価値を付与していくかが重要

##### ○ 働き方(職場環境)について

- ・企業規模によっては社内で人材を活かしきれないケースもあり、外部で活躍する選択肢についても前向きに考える必要がある(雇用の流動化)
- ・柔軟な働き方として多様な制度を導入する一方、ルール整備が不十分だったため、現場が混乱している場合あり

##### ○ 行政機関・教育機関に求める支援策について

- ・「先行導入企業」「黒字で継続改善する企業」に対する支援策が必要
- ・教育機関へは人間力・コミュニケーション力の育成を要望

### (2) 勉強会

##### 【主な意見】

- ・人材不足や多様化などにより、中小企業では、長期にわたる人材育成が困難
- ・職人技から、情報化や標準化への取組を推進
- ・リスクリングは、経営改革の中核を担う手段となりうる
- ・「DX」「判断力」「解析力」など、新たに必要となったスキルへの教育が必要
- ・企業が求める人材像は、基礎的なスキルとあわせ「人柄」も重視される傾向
- ・短時間・副業・多様就労を前提とした支援策と雇用の流動化促進が必要